

## 令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立美保関中学校）

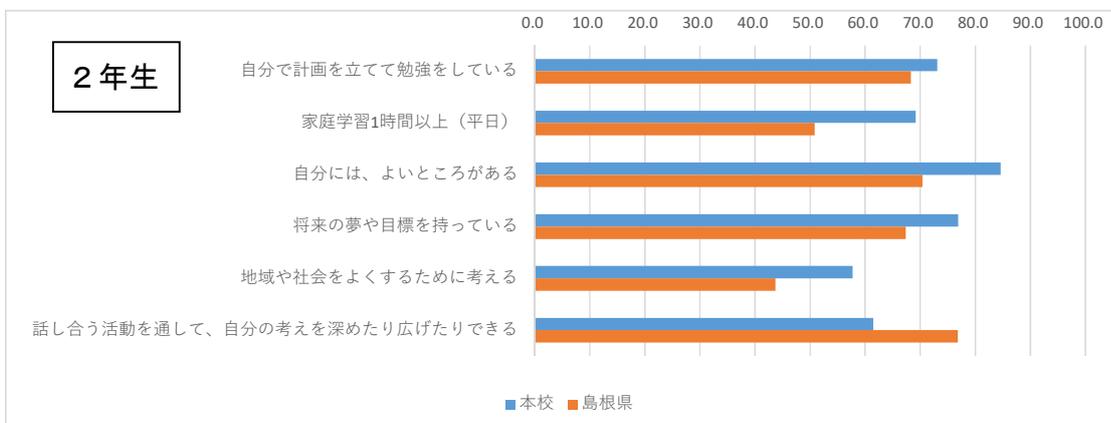
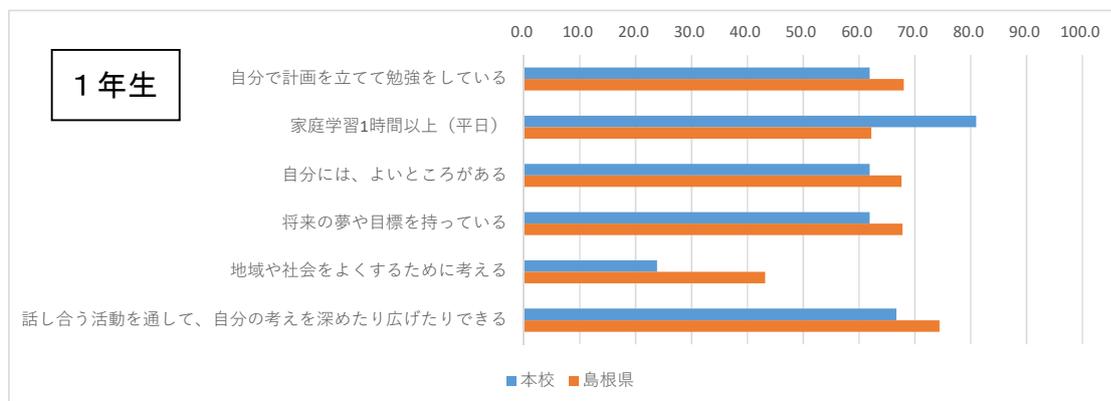
### (1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○基礎・活用とも目標値を超えており、これまでの学習が定着していることがうかがえる。 ●目標値を下回った領域は書くこと、問題の内容では漢字を書くことと文章を書くことであった。漢字を的確に使用し、分かりやすく伝える文を書く練習が必要である。	2 年 国 語	●基礎・活用とも目標値を下回っている。学習の定着がまだまだ足りないことがうかがえる。昨年度と比べてもポイントが下がっている。 ○目標値を上回った領域は我が国の言語文化に関すること、問題の内容では文法・語句に関することであった。
1 年 数 学	○基礎・活用とも目標値をわずかに超えており、これまでの学習が定着しつつあることがうかがえる。 ●目標値を下回った領域は数と式、問題の内容では文字式であった。1年生の最初に学習が完全に定着していないので、家庭学習での繰り返し勉強の指導を強化していく。	2 年 数 学	○基礎・活用とも目標値をわずかに超えており、これまでの学習が定着しつつあることがうかがえる。 ●目標値を下回った領域は数と式、問題の内容では文字式であった。1年生の最初に学習が完全に定着していないので、家庭学習での繰り返し勉強の指導を強化していく。
1 年 英 語	○活用では目標値をわずかに超えており、中学校へ入学してからの学習で、習ったことを工夫することができている。 ●目標値を下回った領域は書くこと、問題の内容ではリスニングと英作文であった。既習事項をアウトプットする力を強化する必要がある。	2 年 英 語	○活用では目標値をわずかに超えており、中学校へ入学してからの学習で、習ったことを工夫することができている。 ●目標値を下回った領域は書くこと、問題の内容ではリスニングと英作文であった。既習事項をアウトプットする力を強化する必要がある。

### (2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○基本的な生活習慣が身につけている生徒が多い傾向にある。 ●家庭学習等、自主的に学びに向かう項目については、県平均を下回っている。 ●自分に良いところがある等の質問については大きく県平均を下回っている。自己評価が厳しい傾向の集団である。	2 年	○基本的な生活習慣が身につけている生徒が多い傾向にある。 ●家庭学習等、自主的に学びに向かう項目については、県平均を下回っている。また、メディアとの接触時間をコントロールしたり、家庭学習時間を計画的に設定したりする項目については、県平均を下回っている。
--------	--	--------	---

### (3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 21名 2年生 26名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。